

# 富士山自然学校通信 12月号



## 【11月の行事より】

### 11月7日（月）会員集会

今回の話題提供は「木の実・草の実」のテーマで、須山宣和さんによるスライド解説です。「動けない植物にとって、種子は勢力を広げるチャンスです。彼らの様々な種子散布の戦略を見てみましょう」との語り出しで始まりました。以下、その概要。

種子散布は、大別すると風散布・水散布・動物散布・自動散布に分けられる。

**風散布**は風を利用して種を飛ばすもので、タンポポのように羽毛を持つもの

や、カエデ・ウバユリのように翼を持つものがある。**水散布**はフデリンドウのように雨が降ると蒴果を開いて種が流れ出すものや核果が水に浮くオニグルミなどがある。**動物散布**は鳥類・哺乳類による被食、人間への付着などがある。鳥は視覚が発達しているため、赤や黒などの目立つ色に、哺乳類は嗅覚が発達しているため、香りが強いものに引き寄せられる。人間への付着はいわゆる「ひっつきむし」で、カギヤトゲ・粘液などで付着する。**自動散布**は果実がはじけて種を飛ばすもので、コクサギ・ツリフネソウ・ゲンノショウコ等がある。

須山さんは様々な植物ごとに写真で説明され、現物の種も数多く回覧して下さいました。

須山さんの発表のあと、理事長から前日に行われた理事会の結果、「今年度の行事もほぼ終了したが、会員・ガイドの高齢化、エコウォーク参加者の減少などを踏まえ、今後の自然学校のあり方などについて、新年度前に話し合いの機会を持った方が良いのではないか」ということで、急遽、来月に会員集会を開催することにしたとの報告がありました。（【12月の予定】参照）

会員からは、今年度観察会の感想として、「幻の滝はちょうど滝の流れ出しが見られてよかった」「大室山麓のミズナラ巨木がナラ枯れ被害にあったのは残念」「村のナラ枯れ対策はどうなっているのか」といった意見が出されました。参加者は11名です。

## 【11月の団体エコツアー事業】

### 11月13日（日）山中湖一周ウォーキング

「山中湖一周ウォークと周辺バスハイク」ということで福島からいらしたお客様を案内しました。きらら発着の湖畔一周ウォークで18名の団体です。予定時刻の12時半ちょうどにバスがきららへ到着。「午後から雨」の予報でしたが、富士山も右肩（五合目小御岳）だけは何とか見える曇り空。みさきへ向って歩き始めましたが、すごい強風で落葉が舞い上がり、白波がくだけています。最初の休憩ポイント長池親水公園では、波が歩道にまで飛び散り、駐車場へ迂回して歩くことに。当日は大池浜がダイヤモンド富士のポイントでしたが、荒天でカメラマンは誰もいません。この辺から霧雨状態に。2番目の休憩ポイント毬藻庵トイレを過ぎ、ガスト前からは歩道がなく車道歩きです。皆さん整然と一列で歩き、無事通過。村役場前から東大演習林にかけては紅葉がクライマックスで見事でした。最後の休憩ポイント旭日丘森の駅の前後は雨降りになり、傘をさすも裏返る始末。最終日を迎えた紅葉祭りには多くの観光客が集まっていますが、ここのモミジはほとんど落ちていました。最期は雨もやみ4時40分に無事ゴール。皆さん、猪苗代湖も一周された（3日間）方が多いとあって健脚で、荒天にもかかわらず順調に完歩されました。スマホのカウンターは24,800歩でした。

## 【きらら木札の復元】

先月号の「10月会員集会」でふれた「きらら」の木札復元作業ですが、11月の会員集会後に若干の補充をし、一年がかりの作業を終えました。設置した木札は約150枚、ラミネートの簡易版は約5



0枚です。きらら管理のミズノの責任者の方からは「『きららに散歩にいらした方から観光課に電話があり、木札がついているので良かったと称賛の声が寄せられた』と観光課から連絡をいただいた、私たちも感謝しています」との話がありました。うれしいことです。

## 【12月の予定】

**12月5日（月） 冬季講座「富士山の火山噴火とその災害」 亀谷伸子氏（富士山科学研究所）**

**開催場所：旭日丘公民館**

**開始時間：午後1時半**

**講演概要：**日本には様々な火山が存在し、多くの人々が火山の麓に住んでいます。これらの火山で起こった様々な噴火とそのしくみを理解することが、防災・減災へつながります。噴火による災害からいかに身を守り、どのようにして火山と共に生きていくのか。講演を通して考えます。

**※冬季講座に参加される方は、12月2日（金）までに事務局までご連絡ください**

**12月13日（火） 会員集会**

**開催場所：旭日丘公民館**

**開始時間：午後1時半**

**開催の趣旨：**11月の理事会で、「今年度の行事もほぼ終了したが、会員・ガイドの高齢化、エコウォーク参加者の減少などを踏まえ、今後の自然学校のあり方などについて、新年度前に話し合いの機会を持った方が良いのではないか」ということになり、年末の時期ではありますが、会員集会を開催することにしました。皆様のご参加を呼びかけます。